

教員養成の目標（養護教諭）

養護教諭養成における理念と構想、及び育成したい養護教諭像は、大学と学科の教育理念を基盤として、その設置趣旨を活かして養護教諭の育成に向けたものである。学科における教員養成の理念の根幹が大学の教員養成に対する理念と共通することはもちろんのことである。

養護教諭養成の趣旨は、キリスト教ヒューマニズムに基づき、子どもの心を理解し、子どもとともに成長する養護教諭を養成することであり、上記の「心、共生、ケア」が出来る養護の実現をすることにある。「心、共生、ケア」を身につけた養護教諭の育成を行う。

- (ア)心 【こころの分かる養護教諭】 本学のキリスト教的基盤、併設学科(心理系)との共通・共有科目を通して、養護教諭として、集団のみならず一人ひとりの子ども(例えば、保健室を訪れる児童・生徒)の心に共感的に寄り添い、客観的、科学的な対処が出来る教諭を育成する。
- (イ)共生 【インクルーシブ教育に対応できる養護教諭】 インクルーシブ教育促進に寄与できる養護教諭を育成する。包括的な共生的な教育が標準となっている現在の義務教育において、心身の専門家としての看護教育を受け、キリスト教的共生の精神を身につけた養護教諭を育てる。
- (ウ)ケア 【心身のケアが出来る養護教諭】 高い看護の技術に裏付けられた良質なケアが出来る養護教諭を育成する。心理と看護を持った大学の教職課程の強みとして、心身のケアが出来る看護の専門教育を受けた養護教諭を育成する。